

Sustainable Report No.084

オフィス古紙を 社内で再利用

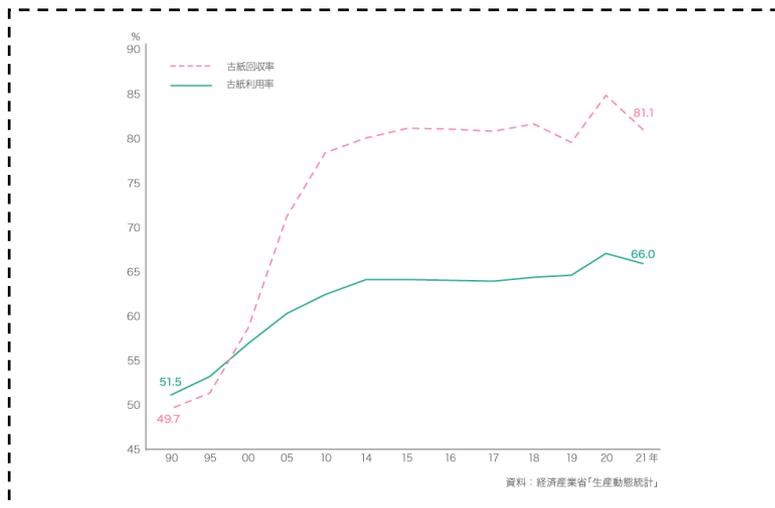


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

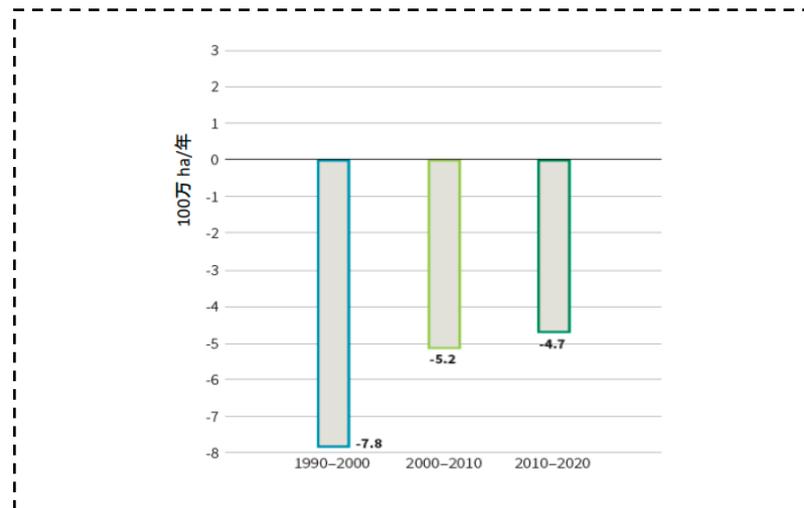
- 2021年、国内の紙生産量2,330万tに対して紙用古紙の再利用率は**37.4%**で**2009年以降減少**が続く。
- 再利用可能な古紙は汚れや加工がないなど制限され、**回収できる量は限定**される。加えて、企業における機密文書のシュレッダー処理など、やむを得ず可燃ごみとして排出する場合がある。
- 紙の原料である木材が生まれる森林は、**2010～2020年に世界で年平均470万ha減少**し、大気中の二酸化炭素の吸収量が少なくなることで地球温暖化が進む一因となっている。

■ 古紙の利用率及び回収率の推移



出典：経済産業省を参考に日本製紙連合会作成

■ 10年ごとの世界の森林面積の純変化



出典：林野庁

▶ NEXT : 古紙を再生する乾式オフィス製紙機を販売

■ 実行者／解決方法／残る課題

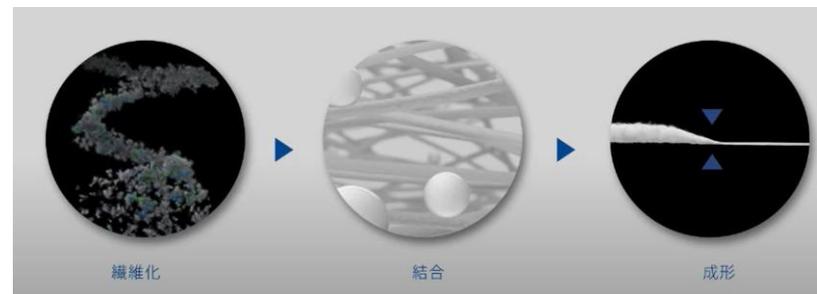
- セイコーエプソン株式会社では、2025年に向けた長期ビジョン「Epson 25 Renewed」を制定し、**環境、DX、共創に重点を置いて**事業展開。
- 2016年より**使用済みの紙を繊維化して結合・成形して新たな紙にする**乾式オフィス製紙機「PaperLab」を販売。2022年10月より、J-クレジット制度を活用してカーボン・オフセットを実施。
- 機械の幅は2m以上で重量は1.7tあるため、**スペース確保の難しさが導入の弊害**になり得る。

■ PaperLab



出典：左右共にセイコーエプソン株式会社

■ 水を使わずに、紙を作る技術

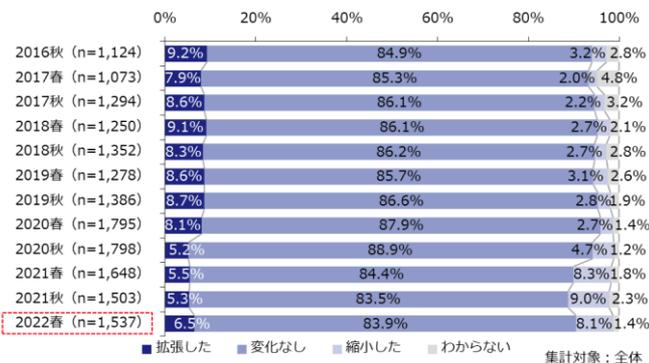


▶ NEXT : 複数拠点分まとめて再生できるルートづくりへ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- **1事業所では集まる古紙が少なく**コストやスペースをとって再生処理機を設置することは割に合わない。
- 不要になるのは少量の古紙であっても、**手軽に機械を使用して再生できることが理想**である。
- 複数拠点ありそれを結ぶ物流を持っている企業は、**備品や商品の納入と合わせて使用済みの紙を集め**、再生処理機を置く本社や倉庫に運んでまとめて再生することで、社内循環の促進が期待される。

■ オフィス面積の変化



2020年以降、オフィス縮小が増加している

出典：ザイマックス総研

■ 関連企業同士での紙循環イメージ



出典：ASCII

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 日本製紙連合会, 「製紙業界の現状」, 2023年3月10日参照 (<https://www.jpa.gr.jp/states/used-paper/>)
- 公益財団法人古紙再生促進センター, 「古紙ハンドブック」, 2021年7月 (<http://www.prpc.or.jp/wp-content/uploads/handbook2021.pdf>)
- 林野庁, 「世界森林資源評価2020 Key findings」, 2020年5月 (<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaigai/attach/pdf/index-4.pdf>)
- EPSON, 「乾式オフィス製紙機PaperLab」, 2023年3月22日参照 (<https://www.epson.jp/products/paperlab/>)
- ザイマックス総研「大都市圏オフィス需要調査2022春①需要動向編」, 2022年6月15日 (https://soken.xymax.co.jp/2022/06/15/2206-office_demand_survey_2022s_1/)
- ASCII, 「オフィスの紙を循環させる、シュレッダーが付く製紙機「PaperLab」、エプソン」, 2022年12月09日 (<https://ascii.jp/elem/000/004/116/4116739/#eid3462098>)
- 地球産業研究所, 「リサイクルの現状と課題(2) - 紙のリサイクル」, 1995年 (<https://www.gispri.or.jp/newsletter/199511-4>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。